

週刊 かわら版



編集文責・大庭

教育実習生来る

4人の教育実習生が来ています。教科も様々で音楽、体育、情報、英語だ。

教育実習生が来ることは、生徒だけでなく、私たち教師にとっても楽しみのひとつである。高校を卒業して三年経ち、それぞれに成長した姿を見るのはとても楽しみなものだ。また、新しい風を吹き込んでくれるに違いない。

この二週間または三週間、進路について相談ができるチャンスかもしれない。一番身近な問題として良いアドバイスをもたらえると思う。空き時間などに、話しかけてみては？



先見コーナー

- 5/26(土) ○土曜補習(普通系・特進)
- 5/28(月) ○成績伝票提出 ○学科朝会(普通)

この日に教科担任から各担任にテストの結果や学期の成績が伝票として手渡されます。遅くても前日までに全ての宿題やレポートやノートの提出が済んでいなければ平常点に加味されません。

- 5/29(火) ○情報祭委員会(模擬店)
- 5/30(水) ○歯科検診(3~6限目)3年生 ○選挙管理委員会
- 5/31(木) ○歯科検診(3~6限目)2年生
- 6/01(金) ○歯科検診(3~6限目)1年生
○3年医療福祉科介護実習(校内指導)
- 6/02(土) ○1・2年土曜補習(普通系・特進)
○ものづくりコンテスト鹿児島大会
- 6/03(日) ○道研模試 ○英語検定1次 ○第二種電気工事士(筆記)
- 6/04(月) ○学科朝会(処理科・MMH)
- 6/04(月) ○情報祭実行委員会
- 6/06(水) ○中高連絡会(本校) ○学科朝会(医福・図書館)
- 6/07(木) ○中高連絡会(本校) ○眼科検診(5~6限目)
- 6/08(金) ○情報祭(校内) ○芸術音楽祭(谷山サザンホール)
- 6/09(土) ○情報祭 ○3年保護者学級委員長会
○姉妹校相談会
- 6/10(日) ○日商簿記検定 ○危険物取扱い

次のかかわら版7号は6月1日(金)発行予定です。

進学指導情報

- 朝日新聞社主催 進学ガイダンス(国・公・私・短大) ジェイドガーデンパレス 6月13日(水) 15時半~ 締め切り6月1日(金) ○日本ドリコム主催

情報

- 児童虐待防止推進月間 標語募集 締め切り6月19日(火)
- 聞き書き甲子園(農林水産事業) 締め切り6月25日(月)
- りんり俳句大賞
- 進学ガイダンス(大学・短大・専門学校) 鹿児島アリーナ 6月14日(木) 13時~ 締め切り6月14日(木)
- ふれあい看護体験 鹿児島厚生連病院 締め切り5月31日まで 定員10名です。
- 親子療養所訪問(ハンセン病) 7月7日AMU広場 締め切り7月6日(金)
- かご専文化フェア
- 全国高校生 小論文コンテスト 締め切り9月6日(木)
- ポラントピア スピリット・アワード 締め切り9月10日(月)
- 感動作文コンクール テーマ「感動」 締め切り10月5日(金)
- 高校生諸論文

日本学生支援機構 (重要事項)

- 「今こそ大志を語れ」 締め切り10月31日 (●印は新規掲載)
- 希望者は必要書類(3点)を2階会議室前テーブルに取りに行く (締め切り6月1日(金))
- 奨学金の予約申請希望者は確認書を須納瀬先生(5F)まで提出 (締め切り6月12日(火))

資格試験情報

- CG・ARTS検定 5月25日(金)締め切り
- リスニング検定 5月31日(木)締め切り

スクールカウンセラー

当面のスクールカウンセラー1の先生(臨床心理士)の来校日は次のとおりです。ご希望の日の一週間前までに申し込みをしてください。教育相談部で日程調整をします。

- 6月1日(金)
- 6月8日(金)
- 6月15日(金)

情報祭のため中止 毎回8時45分~12時30分 最終受付は11時30分です。

清流

仕事が終わる、愛犬のコーギーと散歩するのが日課である。散歩中に眺める飛行機に、「どこにいくのだろうか」と想像がふくらむ▼なんと、その想像に答えをくれるアプリが存在することを知った。アプリを立ち上げるだけで飛行中の飛行機の情報が全てわかる。どこかの空港を何時に出発し、どこに向かい何時に到着する。その速度と高度や航空会社、機種までもわかる▼今から約二百年前に精巧な日本地図を作成した伊能忠敬の趣味は、天体観測だった。小さい頃から宇宙に思いをはせることが好きだった。そして、造り酒屋で長年働いたあと、50才で天文の勉強を正式に始め、「地球の大きさはどのくらいなのだろうか」という好奇心から測量術を勉強。56才から17年、通算4万キロの道のりを歩き、日本最初の実測地図を完成させた▼当時、日本を野蛮な後進国と蔑んでみていた西洋人は、その地図の精巧さを目にし、日本を見下すことをやめたと聞く▼夢や好奇心から一歩を踏み出した忠敬の墓石の側面には「忠敬は星や暦を好み、測量にはいつも喜びを顔に浮かべて出かけて行った」とあるらしい。私たちが喜びの顔を浮かべても、夢への一歩を踏み出したものだ。